

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年5月19日 金曜日

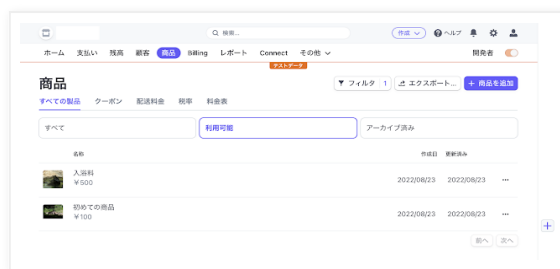
Autonomous DatabaseのStripe Viewにアクセスする

Autonomous Databaseでは、Stripeに登録された顧客や製品などを一覧するビューが提供されています。

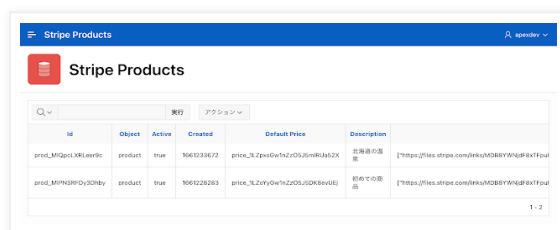
<https://docs.oracle.com/en/cloud/paas/autonomous-database/adbsa/stripe-autonomous-database.html>

以前に[Stripeを使う記事](#)を書いたことがありStripeのアカウントが作成済みだったため、動作を確認してみました。

Stripeには以下の2つの商品が登録されています。



商品を一覧するビュー**STRIPE_PRODUCTS**を、対話モード・レポートで表示してみました。Stripeに登録されている商品がリストされています。



以下より、実施した作業について紹介します。

Oracle APEXのワークスペース・スキーマは**WKSP_APEXDEV**とします。ワークスペース・スキーマが異なる場合は、使用しているワークスペース・スキーマの名前に置き換えてください。

マニュアルの手順に従って作業を行います。

最初にAPEXのワークスペース・スキーマにネットワークACLを追加して、Stripeへのアクセスを許可します。**principal_name**にワークスペース・スキーマ**WKSP_APEXDEV**を指定します。

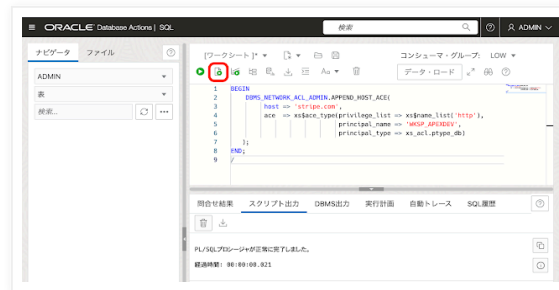
```
BEGIN
  DBMS_NETWORK_ACL_ADMIN.APPEND_HOST_ACE(
    host => 'stripe.com',
```

```

ace => xs$ace_type(privilege_list => xs$name_list('http'),
principal_name => 'WKSP_APEXDEV',
principal_type => xs_acl.ptype_db)
);
END;
/

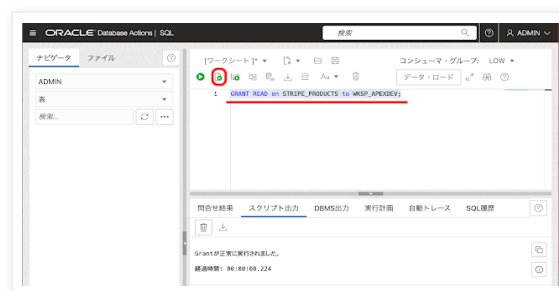
```

管理者ユーザー**ADMIN**でデータベース・アクションに接続し、SQLワークシートより実行します。



今回の例ではビュー**STRIPE_PRODUCTS**にアクセスします。APEXのワークスペース・スキーマに、ビュー**STRIPE_PRODUCTS**への読み込み権限を与えます。

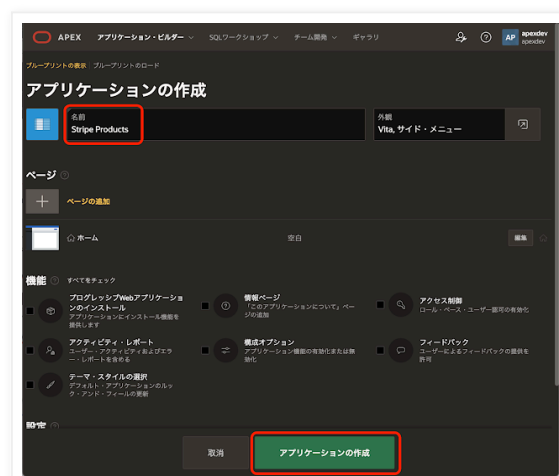
GRANT READ on STRIPE_PRODUCTS to WKSP_APEXDEV;



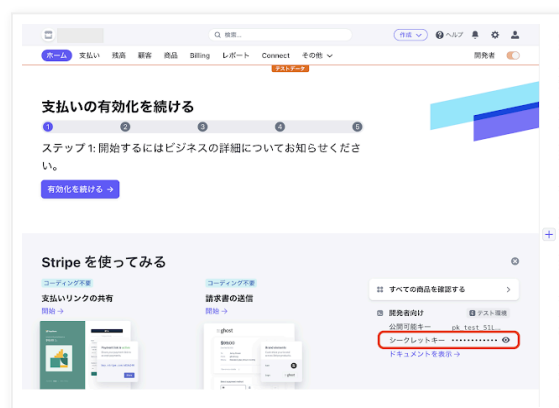
Autonomous Databaseでは、**STRIPE_ACCOUNTS**、**STRIPE_COUPONS**、**STRIPE_CUSTOMERS**、**STRIPE_INVOICES**、**STRIPE_PLANS**、**STRIPE_PRODUCTS**、**STRIPE_SUBSCRIPTIONS**といったビューが提供されています。READ権限は、これらのビューそれぞれに付与する必要があります。

管理者ユーザーADMINでの作業は完了です。

アプリケーション作成ウィザードを起動し、空のアプリケーションを作成します。名前は**Stripe Products**とします。



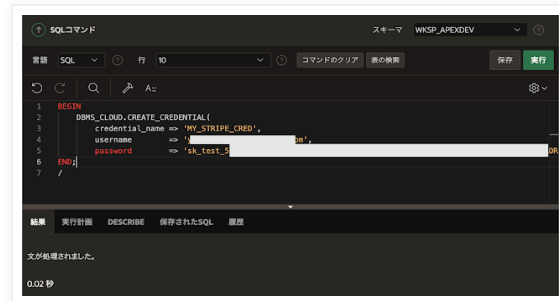
ソースの表名として、**STRIPE_PRODUCTS**を設定します。



```

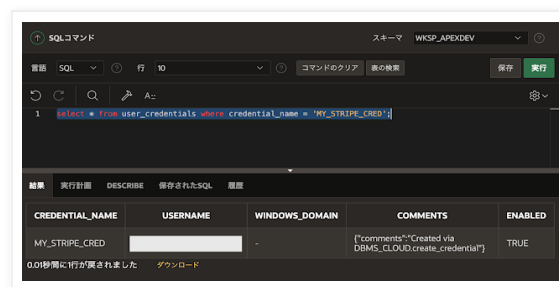
BEGIN
  DBMS_CLOUD.CREATE_CREDENTIAL(
    credential_name => 'MY_STRIPE_CRED',
    username       => 'Stripeのユーザー名',
    password       => 'シークレットキー' );
END;
/

```



作成されたクリデンシャルを、ビューUSER_CREDENTIALSより確認します。

```
select * from user_credentials where credential_name = 'MY_STRIPE_CRED';
```



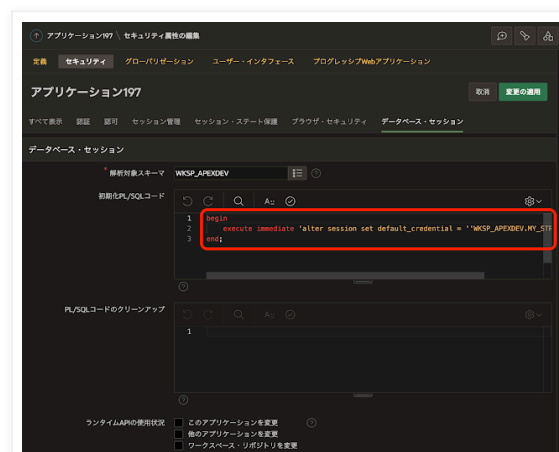
クリデンシャルMY_STRIPE_CREDを、APEXアプリケーションが参照するようにします。

アプリケーション定義のセキュリティのデータベース・セッションの初期化PL/SQLコードに以下を記述します。

```

begin
  execute immediate 'alter session set default_credential = "WKSP_APEXDEV.MY_STRIPE_CRED"';
end;

```



以上で記事の先頭にあるように、対話モード・レポートにStripeに登録されている商品が一覧されます。

簡単なアプリケーションですが、今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/stripe-products.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 12:56

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
